

会 議 録

名 称	第7回 登米市部活動地域移行準備委員会
開催日時	令和7年10月21日（火） 午後2時 開会 午後3時36分 閉会
開催場所	中田庁舎 201会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登米市中学校長会代表（米山中校長） 佐藤 智哉 ○ 登米市中学校長会代表（津山中校長） 森 美紀子 ○ 登米市中学校体育連盟会長（中田中校長） 富士原昭裕（会長） ○ 登米市中学校体育連盟理事長（中田中教諭） 熊谷 篤 ○ 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 関 壮一（副会長） ○ 登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜 ○ 登米市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長 大友 勝志 ○ 登米ジュニア吹奏楽団 団長 只野 正昭 ○ 元中学校美術教諭 主任児童委員 及川 英之 ○ 登米市PTA連合会 副会長 渥美 雅彦
事務局等職員 職・氏名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登米市教育委員会 教育長 小野寺文晃 次長兼学校教育管理監 鹿野 征美 学校教育課長 猪股 勝徳 生涯学習課長 千葉 敬子 生涯学習課スポーツ振興主幹 高橋 美香 生き生き学校支援室長 高橋 利恵 生き生き学校支援室指導主事 熊谷美佐子 生き生き学校支援室事務員 川村真希子
	<p>1 開会</p> <p>2 開会の挨拶 登米市部活動地域移行準備委員会 会長 富士原 昭裕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の末に登米市新人戦が終わり、県大会がおおよそ1か月位かけて仙台を中心に行われる予定となっている。文化面では明日、市の文化祭ということで10校がそろい、合奏や合唱を発表するということになる。校内の合唱コンクールも催されており、文化の秋、スポーツの秋を感じている。 ・ 本日の会議で、地域クラブ活動団体や指導者の認定審査が行われるなど具体が出てきて、いよいよ地域展開（地域移行）の本格化だなと感じている。忌憚のないご意見をいただきながら、各団体の活動がスタートできればと思う。 <p>3 教育長挨拶 登米市教育委員会 教育長 小野寺 文晃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の前に案内をいただいたが、登米市美術協会展で「登米市部活動地域移行に向けた美術分野の試みとして実施します」と謳い「登米市内中学生の作品鑑賞講座」を企画してくれている。大変ありがたい話だなと、こういった形で地域を盛り上げ、子どもたちの活動をサポートしていけたらいいなと思っているので、各団体、各学校に戻られた折にでも話をし、たくさんの方に見ていただけたら嬉しい。 ・ 少子化に歯止めがかからず、毎年3桁の人数、児童数が減ってきている。こういう現状を考えたときに学校教育はもちろん、スポーツ活動、文化活動のありようというのを根本から見直していかなければならないのは皆さんも周知の事実。そういった中で、この部活動の地域展開と言うのは一つの手立てだろうと思っている。子どもたちのニーズに応えられる活動をしていくことが大事で、学校と地域が手を携えていくことは欠かせない。

子どもたちの望ましい成長を保障できる、スポーツや文化芸術活動の環境整備は待ったなしの急務な仕事だと感じている。

- ・ 全国の市町村教委の中ではすでに中学校の部活動をなくしているところもある。日本中体連やいろいろな全国組織がある中で、なかなか厳しい状況下にあると思うが、登米市のこの地域展開も今の部活動をどうしていくかという観点から物事を考えていくと、どうしても先が行き詰ってしまう。中学校から部活動がなくなったときに、子どもたちの活動をどう保障していくかという観点をしっかりとらまえて議論していかなければならない。
- ・ 中体連で勝つためにクラブチームを作るという、ちょっと方向性が違うような考えで組織を申請してくる団体もあると聞いている。果たして本当にそれでいいのか、ぜひ登米市の持つ力、登米市にこんな力がある、こんな人がいる、こんな場所がある、そういったものをしっかり洗い出してフルに生かせる活動、そして持続可能な活動にしていかなければならないと思う。お集りの皆様からご忌憚のない意見を頂戴したい。

4 報告・説明

- (1) 登米市学校部活動及び地域クラブ指導者研修会→事務局より報告
- (2) 部活動地域移行フォーラム→事務局より報告

5 協議

- (1) 登米市地域クラブ活動団体・指導者の審査及び認定について

①審査及び認定について・・・申請された15の団体と5名の指導者を「登米市地域クラブ活動団体・指導者認定基準」に基づき1団体、1名ずつ審査→すべて承認

《審査の際に出た意見》

○登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜

- ・指導者資格について、写しなどで確認をしているのか。JSP0の資格についても具体的に記載した方がいいのではないかな。

(事務局)

⇒証明書の写し等は提出してもらってはないが、認定証交付、説明会の際に持参してもらい確認したい。

○登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜

- ・申請のあった団体はすべて、現在すでに活動している団体なのか。

(事務局)

⇒対象者を小学生だけではなく中学生まで広げたり、対象地域を広げたりという団体もあるが、すべてすでに活動している団体が申請している。

○登米市校長会代表（米山中校長）佐藤 智哉

- ・ガイドラインを遵守して、勝利至上主義に偏らず、子どもたちの健全育成がメインで活動できればいいと感じている。

(事務局)

⇒登米市地域クラブ活動団体・指導者認定基準にも謳ってはいるが、認定者として適切な指導ができていないような場合には認定

を取り消す場合もある。認定証の交付の際にしっかり話したい。

○登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜

- ・地域クラブ活動にしか参加しない生徒と、受け皿となる団体に所属して週に 2～3 回活動している生徒で、会費の設定についてどのように考えているのか確認してほしい。

(事務局)

⇒会費の設定については、地域クラブ活動に参加の生徒と既存の団体参加の生徒と、分けている団体もあれば分けていない団体もある。認定証交付の際に各団体に確認しながら話していきたい。

②認定された団体・指導者への説明会等について→開催について承認

●日時：令和 7 年 1 1 月 5 日（水） 1 9 : 0 0 ～

●内容：認定証の交付

地域クラブ運営についての注意事項等

施設利用について

中体連等補助金について

○登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜

- ・施設利用について各団体だけではなく、市内施設にしっかりと伝えてほしい。

(事務局)

⇒施設利用減免についてはまちづくり推進課と調整をしており、市内の各施設に向けても今後しっかり知らせていく。

○登米市中学校体育連盟会長（中田中校長） 富士原 昭裕

- ・年会費を徴収しているので、参加している保護者にはしっかり会計報告ができるようにしてほしい。

(事務局)

⇒会費の設定についてと同様に、認定証の交付の際に話したい。

(2) その他

(事務局)

⇒今回の審査は準備委員会で行ったが、今後、登録申請は随時受け付けていく形をとりたい。地域クラブ活動団体・指導者の審査及び認定については、審査日のある程度設定しながら、市教育委員会内で選考委員会を設け、審査及び認定を行っていききたい。審査の日程や方法については次回の準備委員会で提案したい。

また、本準備委員会は第 8 回までの予定、今年度までの規定になっていたが、まだ部分的にスタートしたばかりで、さらにこれから確認し、進めていくうえで、次年度以降の準備委員会の在り方、構成メンバーについても次回の準備委員会で提案したい。

○登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜

- ・令和 1 0 年度から宮城県教育委員会では土日の部活動をやらないという方針を出したようだが、市町村に対する影響力はどうか、必ずやらなくては行けないのか。

(事務局)

⇒あくまでも目標ということで、各地域の実情に応じて取り組むように県からは言われている。登米市についてはここからやっとスタートというところなので、令和8年、9年の取組状況を見ながら進めていく形になるかと思う。

(登米市教育委員会 教育長 小野寺 文晃)

⇒教育長部会では令和10年度はあくまで目標だという考え方で、なかなか進まないというのが現実のようだ。最終的に部活動を中学校が切り離すというような考え方を持っている市も多く発生しているようだが、それがどうなのかということは今後の大きな課題。実証に取り組んで国から予算をもらいながら行った市もあるが、今は助成が切られ、できるかと言われたらできない状況で、理想と現実とは全く別物。マスコミやSNS上で言っていることがすべてではない、無理に方法を変えるということは子どもたちにとって決していいことではない。その辺もしっかりとらえ、少しずつ前に進みながら修正かけながらやっていきたい。

- 6 閉会の挨拶 登米市部活動地域移行準備委員会 副会長 関 壮一
- ・ 地域クラブ活動団体の審査、承認がされ、第一歩が踏み出せたのかなと感じている。子どもたちのために、委員の皆様にはますますご意見をいただき盛り上げていただきたい。

7 閉会

※第8回登米市部活動地域移行準備委員会 令和8年1月開催予定